

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立八幡支援学校 】

1 実践テーマ	【 III・V 】
2 実施対象者	<p>(1) 高等部ソフトボール部 8名 京都八幡高等学校ソフトボール部 6名</p> <p>(2) 高等部就労デザインコース2・3年生 19名 八幡市立有都小学校1年生 24名 支援学級 2名</p> <p>(3) 高等部就労デザインコース2年生 7名 京都八幡高等学校人間科学科3年生 10名</p>
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( 保健体育 特別活動 )</p> <p>② 行事名 ( )</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<p>(1) スポーツへの意欲の向上や勝敗に対する気持ちの向上へつなげる。 団体での競技の経験を積み、ルールを理解を深める。</p> <p>(2) ルールを理解し、地域の児童に競技の説明をすることができる。 スポーツを教えることでよりスポーツの楽しさを知り、余暇につなげる。</p> <p>(3) チームで楽しく対戦する中で、両校の生徒が自然に交流することができる。</p>
5 取組内容	<p>(1) 平成30年度京都府立学校交流ソフトボール大会 府立の特別支援学校と高等学校の合同チームでソフトボールの試合を行った。</p> <p>① 京都八幡高等学校ソフトボールとの合同練習 日時：7月31日(火)、8月21日(火) 9:00~12:00 場所：京都八幡高等学校北キャンパスグラウンド 内容：キャッチボール、守備練習、打撃練習、試合形式</p>



②京都府立学校交流ソフトボール大会

日時：8月22日（水）9:00～15:00

場所：京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）第2・3野球場

参加校：北嵯峨高校・聾学校チーム

菟道高校・宇治支援学校チーム

京都八幡高校・八幡支援学校チーム

内容：開会式、試合（50分ゲーム）2試合、昼休み  
守備別練習、ホームラン競争、閉会式



(2) スポーツ体験教室

ペガールボール、ポッチャ、フライングディスクの3つの種目を地域の小学生に教える取組を行った。

①事前学習

日時：12月12日（水）9:45～10:20

12月13日（木）13:30～14:15

場所：本校体育館

内容：説明、役割決め、種目に別れてルール確認・練習



②スポーツ体験教室

日時：12月14日（金）13:40～14:25

場所：有都小学校体育館

内容：ペガールボール、ポッチャ、フライングディスク



(3) 京都八幡高等学校人間科学科3年生との授業交流

京都八幡高等学校南キャンパスとの授業交流で本校が体育の授業で行っている内容で交流をした。

	<p>①事前学習  日時：1月18日（金）14:20～15:00  場所：教室  内容：授業交流の説明、目標決め</p> <p>②授業交流  日時：1月21日（月）10:40～12:10  場所：京都八幡高等学校南キャンパス体育館  内容：サーキットトレーニング、ペーパーボール、ドッチビー</p> 
6主な成果	<p>(1) これまで合同練習は年に数回していたが、合同チームで試合をするのは初めての取組だった。交流大会前の合同練習では今までとは違い、試合に向けての練習だったので、生徒同士もより声をかけ合いながら取り組むことができた。また、高校生の上手なプレイを見ることで生徒のモチベーションにもつながり、高校生のように上手になりたいと思う生徒もいた。</p> <p>(2) 普段から体育の授業等で取り組んでいる種目だったので、自信を持って教えたり、積極的に関わったりすることができていた。また、ルールを理解している生徒が多く、教師がいなくても生徒たちだけで動くことができていた。</p> <p>(3) 普段の授業でやってきたことを、高校生がいる場面でも当たり前のようにできるようになった。また、高校生が親しみやすい雰囲気を作ってくれたおかげで、生徒も交流に対して少しずつ緊張や不安がなくなり、休憩時間や何気ない会話をしている際にお互いに質問し合ったり笑ったりする様子も見られた。</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>(1) 交流大会前に合同練習を実施した。</p> <p>(2) 児童が楽しめるように、簡単なルールに変更した。</p> <p>(3) 多くの高校生と交流できるように、競技ごとにチーム分けをした。</p>
8主な課題等	<p>(1) 夏の暑い日に交流大会があり、暑さでしんどくなる生徒もいた。夏休みの間、家で過ごしている生徒が多く、暑さに慣れていないので、定期的に練習をしたり、水分補給をしたり、暑さ対策をする必要があった。</p> <p>(2) (3) 特になし</p>
9来年度以降の実施予定	<p>(1) 京都八幡高等学校との授業交流や部活動交流は来年度以降も継続して行っていく。</p> <p>(2) スポーツ体験教室は来年度以降も継続していきたい。</p>